第 124 号
2023 年 8 月 10 日 発行
発行責任　工藤 忠男
銚子ジオパーク市民の会
URL： https://choshigeopark.com

特集　親子で夏の自由研究ツアー

今年も「親子で夏の自由研究ツアー」が銚子ジオパーク推進協議会主催・銚子ジオパーク市民の会共催で実施されました。　以下、会員からの報告です

メダカ水槽を作ろう

向後　和子

当日、7月15日は薄曇りで、連日続いている猛暑から一息つけそうな快適な日でした。

参加人数は20名で、9組の親子が参加しました。

銚子ジオパーク・芸術センターに集合して、下の谷津田に向かい急な坂道を降りていきました。皆さん足取り軽く、あっという間に目的地に着きました。稲穂が青く茂った田んぼの畔にカワニナやアオウキクサは生息していて、水槽に入れる適量を採取することができました。

昼休憩をしてから待望の水槽作りに入りました。先ず、溶岩を入れ、水を入れ、それからマツモという水草を入れ、メダカ2匹を入れ、水を足します。

今回はオス、メス関係なく、2匹を投入したので、実験室での講義を聞きながら、じっくりと鑑別しました。

オスは背びれが、ぎざぎざになっていて、メスは丸みをおびている。

上田専門員の講義ではメダカの生態、飼育方法、観察方法について詳しく説明を受け、有意義な一日となりました。

水草の採取風景

貝殻標本をつくろう　内匠　五月枝

7月16日（日）親子で夏の自由研究ツアー（貝殻標本をつくろう）が実施されました。

参加者は8家族18人（銚子市、旭市、神　栖市在住）、講師は房州勝也氏、スタッフは上田専門員と房州文子さん、市民の会から2名（田中さん、内匠）がお手伝いしました。

9時50分に長崎防災空地に集合し、講師から注意事項や貝殻採集のポイントなどの説明を受け海岸に降りて採集を開始。

当日は雲一つない晴天、暑さで頭がくらくらしましたが、子供たちは大はしゃぎ。

1時間15分にわたり夢中で採集し午前中のフィールドワークは無事終了。

午後は1時から銚子ジオパーク・芸術センター実験室で標本作りのコツを講師から説明を受け、各自採集した貝殻は歯ブラシなどを使いきれいに水洗いした後、配布されたテキストや房州先生が親子3代にわたり採集した貴重な標本を見ながら名前を付ける作業を行いました。

実験室：標本作り風景

貝殻は似ているものが多く名前の判明に苦戦しながらも講師のアドバイスを受け何とか名前を決定することができました。後の作業は帰宅後の宿題とし無事終了、最後に房州先生からサクラガイとアサガオガイのプレゼントがあり、思いがけないサプライズに子供たちは喜んでいました。

ヤドカリの行動を探る！

石毛　克也

7月23日（日）4日目が行われました。

講師の千葉大学　菊池先生、スタッフは、事務局、2名、市民の会参加者（石嶋さん、石毛克）です。

当日集まった家族は、銚子～神栖～旭近郊の8家族22名で、申し込み競争倍率5倍を勝ち抜いた小学校3年生～6年生の元気な男の子、女の子たちでした。

私たち（石嶋さん・石毛克）は講師　千葉大学の先生のサポートをしました。

長崎海岸に10時集合し、バケツにたくさんの「ヤドカリ」を採取しました。もともと、この企画に応募する子供たちなので、海が大好きな子供たちです。わりと直ぐに、捕まえられるヤドカリより、すばしっこく逃げ回る「カニ」を捕まえるのに、全身ずぶ濡れになり夢中で採取です！

2面へ